

開講科目名 / Course	看護アセスメント学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	藤内 美保	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、藤内 美保、山田 貴子、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
授業回数	40	
科目の目的と概要	対象者と援助の人間関係を築きながら、身体面・心理面・社会面の状態を総合的に捉え、看護診断を明らかにし、看護過程を展開する基礎的能力を修得すると共に、看護職に求められる基本的姿勢を身につける。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者を尊重し、援助の人間関係を形成することができる。</li> <li>2. 対象者の多様な側面から情報収集し、看護の視点からアセスメントし、看護診断を導くことができる。</li> <li>3. アセスメントに基づき個別性に配慮した看護計画を立案し、実施及び評価することができる。</li> <li>4. 看護職に求められる基本的姿勢をもち実施できる。</li> </ol>	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	<p>実習期間：2024年12月9日(月)～12月23日(月)</p> <p>実習施設：大分県立病院、大分赤十字病院、大分大学医学部附属病院のいずれかの施設に配置。</p> <p>実習方法：原則1名の受持ち患者に関わり、患者の理解を深め看護過程の展開を行う。日々の実習目標、実習計画を立案し、臨床指導者、教員の指導のもとにケアを実施しながら、アセスメント、看護診断、看護計画、実施、評価を行う。Daily カンファレンス、中間および最終カンファレンスを実施し、課題を見出し修正する。</p>	
その他の授業の工夫	患者や家族、看護師、多職種が活動するリアルな実習現場で、理論と実践を統合する経験ができる。適宜、臨床指導者や教員のアドバイスを個別に受けることができ、深い学びができる。	
時間外学修	2週間の実習計画を立案するとともに、日々の振り返りと、翌日の実習目標を明確にし、看護過程に関する実習記録を整理しまとめる(20h)。	
評価方法と評価割合	原則100%出席とする。実習目標の到達度(70%：実習内容、実習記録、カンファレンス内容を含む)、看護職に求められる基本的姿勢(30%：基本的姿勢は実習要項参照)により評価を行う。	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学[2](医学書院)</p> <p>NANDA-I看護診断定義と分類2024-2026(医学書院)</p> <p>看護診断を導く情報収集・アセスメント 第6版(Gakken)</p>	
参考書	根拠がわかる疾患別看護過程 改訂第3版(南江堂)	
履修する上で必要な要件	看護理論入門、診療補助技術論(基礎編)、第1段階実習(基礎看護学実習)、看護疾病病態論、看護疾病病態論、ヘルスアセスメント、看護アセスメント学概論、看護アセスメント学演習を、単位修得済み、もしくは単位修得見込みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	藤内美保：病院の看護師経験 石田佳代子：病院の看護師経験 山田貴子：病院の看護師経験 内倉佑介：病院の看護師経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院に勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	臨床現場で活動する看護師と看護の実務経験をもつ教員が連携し、具体的な看護過程の展開や看護ケア、看護職としての基本的な姿勢や倫理観について教授する。	